

緑地計画学を基盤とした景観づくり・まちづくりや コミュニティの活性化に関する研究

教員名：赤澤宏樹

連絡先メールアドレス：akazawa[atmark]hitohaku.jp

◎ どのような研究をしていて、どんなことに役立つのか？

専門分野は緑地計画学ですが、緑が無くても広場や路地等オープンスペース全般を対象にして研究を進めています。近年の研究キーワードは、パークマネジメント、協働型の街路樹管理、自主管理公園（提供公園）、地域創生、エリア・マネジメント等です。都市から郊外住宅地、農村部まで幅広くオープンスペースの魅力を探究しながら、その先にある人と自然が調和した暮らしやすさや住環境を提案します。



公園の活性化



個性的な街路空間

◎ 主な研究業績

- 1) 《景観まちづくりの研究》上田萌子・大平和弘・藤本真里・田原直樹・赤澤宏樹（2017）「旧城下町の景観形成に向けた街路シークエンス景観の分析に基づく重点エリアの抽出」, ランドスケープ研究 80(5), 593-598.
- 2) 《街路樹の協働型管理の研究》赤澤宏樹他（2015）東大阪市におけるテキストマイニングを利用した街路樹管理への市民要望の把握, ランドスケープ研究 78(5) 741-744.
- 3) 《パークマネジメントの活動》赤澤宏樹(2016)尼崎の森中央緑地 地域を育てる森～公園からのまちづくり～, LANDSCAPE DESIGN, No.108, マルモ出版, 40-47.

◎ 学生に向けて一言

人と自然が調和し、多様な市民が楽しく快適に暮らすための計画・管理技術に興味・関心を持つ方（社会人含む）と、共に研究や実践を行います。実際のプロジェクトにも参加しつつ、研究テーマを一緒に考えましょう。学部までの専門分野は問わず、むしろ多様な視点や方法をもって、新しい提案をすることが大切だと考えています。